

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2025 年 7 月 31 日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1（国内）	自社品	
JTE-051	間質性膀胱炎・膀胱痛症候群 自己免疫・アレルギー疾患 /経口	TrkA/ITK阻害	TrkA及びITKを阻害し、疼痛及び過剰な免疫反応を抑制する	Phase2（国内）	自社品	
				Phase2（海外）		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1（海外）	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化し、心機能を改善する	Phase2（海外）	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	小児アトピー性皮膚炎 /外用	AhR調節	アリル炭化水素受容体（AhR）を活性化し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3（国内）	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社（Organon社の子会社）から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ビルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化し、代謝異常を是正する	Phase1（海外）	自社品	
JTV-161	肺動脈性肺高血圧症 /経口	Pim-1阻害	Pim-1を阻害し、肺血管細胞の異常増殖を抑制する	Phase1（海外）	自社品	
JTE-162	自己炎症・自己免疫疾患/ 経口	NLRP3阻害	NLRP3インフラマソームの活性化を抑制し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1（海外）	自社品	
JTV-261	血栓症 /経口	PLD1/2阻害	血小板PLD1/2活性を阻害し、ずり応力依存的な血小板凝集を抑制する	Phase1（国内）	自社品	
JTC-262	神経変性疾患 /経口	NLRP3阻害	NLRP3インフラマソームの活性化を抑制し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1（海外）	自社品	
JTV-263	末梢動脈疾患 /経口	H-PGDS阻害	H-PGDS活性を阻害し、虚血状態の下肢での血流量を改善する	Phase1（海外）	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。
(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2025 年 5 月 7 日）からの変更点
・ JTE-051:想定する適応症・作用機序
・ delgocitinib：導出先のLEO Pharma社が、「デルゴシチニブ」のクリーム剤（Anzupgo[®]）について、「副腎皮質ステロイド外用剤で効果不十分または使用が好ましくない、中等症から重症の成人慢性手湿疹」を適応症として米国食品医薬品局の承認を取得した旨発表（2025年7月23日）